

協会創立30周年記念 論文募集

『海と地域の新たな文化創造 - マリーナ・ビーチへの期待 - 』

(社)日本マリーナ・ビーチ協会は、楽しく健全な海洋性レクリエーションの発展を目指し、21世紀の新しい日本の海と海辺の文化の情報を発信し、その普及を通じて豊かな社会づくりに貢献したいと考えております。

古来、海や海辺は人々の生活の貴重な空間として、その心身を癒し、人々の絆を強めさせてくれる舞台でもありました。また、同時に自然の厳しさを教えてくれる場でもありました。私達は、現今の社会情勢の中にあって、海を持つ楽しさ、厳しさ、そして大切さを正しく理解する人々を育て、21世紀をリードする望ましい地域社会を築いていきたいと願っております。そのためには、海や海辺と人々との関わり方が極めて大きな役割を果たすものと考えます。

以上の趣旨により、当協会では創立30周年を記念して、海や海辺をより身近に感じることでできるマリーナとビーチを活用した新しい日本の海・海辺文化を醸成し、それらを地域に根付かせ、地域社会の連携や発展、及び地域の活性化に寄与することを視野に入れた提案、提言、構想の論文を下記のとおり募集致します。皆様のご応募をお待ち申し上げます。

応募要領

1. 募集テーマ	『海と地域の新たな文化創造 - マリーナ・ビーチへの期待 - 』 A. マリーナ部門 : マリーナ文化の発信、利用を通じた地域社会への貢献 B. ビーチ部門 : ビーチ文化の創成、発信、利用を通じた地域社会への貢献
2. 応募締切	平成16年3月31日(当日消印有効)
3. 表彰	・国土交通大臣賞(1名) ・国土交通省港湾局長賞(1名) 上記の両賞は、下記協会賞に選定された論文のうち特に優秀な論文に対し授与する。 ・マリーナ・ビーチ協会賞 一席: 10万円相当の旅行券 A,B 両部門各1名 二席: 5万円相当の旅行券 A,B 両部門各1名 佳作: 1万円相当の旅行券 若干名
4. 選考委員	井坂啓美(平塚ビーチクラブ顧問)、小峯 力(日本ライフセービング協会理事長)、近藤健雄(日本大学理工学部教授)、坂井順行(NPO法人リサイクルソリューション理事長・選考委員長)、白石真澄(東洋大学経済学部助教授)、西村隆夫((財)港湾空間高度化環境研究センター海辺活動研究会参与)、花田攻((社)共同通信社内政部長)、廻洋子(淑徳大学国際コミュニケーション学部講師) (五十音順、敬称略)
5. 応募資格	海、海辺に関心を持ち、海を愛し、海に生きがいを見つけようとする方(年齢・プロ・アマ・国籍を問いません)
6. 応募規定	応募作品 日本語で記述された自作未発表のものに限る。 論文体裁 両部門ともA4版の横書き(40字×25行)8枚以内とする(図、表、写真等を含む)。 別途、論文要旨(A4版1枚:400字以内)を添付すること。 応募方法 応募部門名(A.マリーナ部門または B.ビーチ部門) 題名 氏名(ペンネーム使用の際は本名も併記) 年齢 性別 職業(在学中の方は学校名・学年) 郵便番号 住所 電話番号を明記したA4版1枚を論文に添付し提出(郵送)のこと。 電子データ(ワード、一太郎、エクセルもしくは PDF 形式に限る)での提出可。但し、電子データで提出する場合は、論文等を電子媒体(FD、CD-R、MOに限る)に保存し、郵送のこと。 その他 応募作品は一切返却致しません。必ず控えのコピーをお取り下さい。 選考経過についてのお問い合わせには応じられません。応募原稿の他の賞への応募は認められません。
7. 諸権利	受賞作品の諸権利、著作権(映像化を含む)及びその他の利用権、これから派生する全ての権利は主催者に帰属します。
8. 発表	平成16年5月 当協会のホームページ及び当協会広告掲載紙(港湾新聞、港湾空港タイムス)にて発表。受賞者には直接通知。
9. 応募・問合せ先	(社)日本マリーナ・ビーチ協会 30周年記念事業事務局(担当:井上) 〒104-0033 東京都中央区新川1-23-7 マリンビル8F / TEL.03-5566-1530 FAX.03-5566-1550 応募要領は、当協会 HP(URL:http://www.jmba.or.jp/ROBUN)でもご覧頂けます。